

武庫南小だより

笑顔であいさつ 根気よく学び 思いやりの心をもつ

学校通信 10月号
令和6年10月2日

尼崎市立武庫南小学校
校長 大龍 正幸

みんなで生活するとは

9月は残暑が厳しく、毎日のように真夏日が続き、まだ夏休みが続いているのではと勘違いさせるような気候でした。最近になってやっと朝晩は過ごしやすくなってきていますが、もう少しの間、昼の気温は高い日が続く予報となっています。朝晩と昼の寒暖差が大きく体調を崩しやすい時期でもあります。まだまだ、熱中症の心配もありますので、お子様の登校時には十分な水分と日除けとなる帽子を持たせる等ご協力をお願いいたします。子どもたちは学校で勉強に運動にと頑張っており、1日の疲れが取れるよう、規則正しい生活と栄養バランスのとれた食事での健康面のサポートをよろしくお願いいたします。

また、先日は本校の停電による臨時休業措置に際しまして、大変ご心配をおかけしましたこと、改めてお詫び申し上げます。保護者の皆様におかれましては、急な対応にもかかわらずご協力いただきありがとうございました。

8・9月の生活目標は、「えがおで自分からあいさつしよう」でした。朝、登校時に気持ちの良いあいさつができる武庫南っ子の皆さん、校長先生も朝皆さんの挨拶から元気をもらっています。校舎内でも、来校者に対して挨拶できる児童が増えてきています。素晴らしいです。これからも続けてほしいと思います。

さて、2学期がスタートして1ヶ月が経ち、令和6年度も折り返し地点となりました。最近、私は学校内で気になっていることがあります。それは、皆さんの言葉づかいです。クラスや学年の友だちと仲良く過ごしている反面、友だちとのトラブルもあります。学校は、たくさんの方が生活する場でその中では当然、周りの人との衝突も起こります。しかし、担任の先生から話を聞いていると、言葉づかいや言葉足らずがきっかけとなるトラブルが多いことが分かりました。相手へ思いを伝える時に、「うざい」「キモい」等の言葉で気持ちがしっかり伝わっているとは思えません。授業では自分の言葉で、相手への思いや考えていることを伝えることができます。普段の生活でも気持ちを伝えるために、言葉づかいを意識して生活してほしいと思います。ご家庭でも、これまで以上にお子様の言葉づかいに注意しながら、子どもたちの思いを受け止めてほしいと思います。みんなが気持ちよく過ごすため、これからも相手の立場に立って考えられる武庫南っ子が育ってほしいと願っています。日中のほとんどの時間を過ごすのは学校です。今一度、言葉づかいを見直しましょう。



自然学校① キャンプファイヤー



自然学校② 沢のぼり

自然学校に行ってきました

9月16日(月)～9月20日(金)まで、5年生は尼崎市立美方高原自然の家に行ってきました。過ごしやすき気候を予想していましたが、こちらと変わらず暑かったです。しかし、子どもたちは暑さに負けず、そこでしか、体験できない様々なプログラムを行いました。今年の自然学校のテーマは「GO5!STAR」。クラスや学年のみんなのことを考え行動し、5年生の頑張りがたくさん見られ、成長できた自然学校でした。